

2023.06.15.木曜礼拝 道を踏み外さない/恐れではなく信仰

Leitu 牧師

天の父よ、この美しい場所に集うことを許されたこの時間を感謝します。あなたを礼拝でき、自分自身を見つめ直し、焦点を合わせ直すことが出来ることに感謝します。今晚ここにいる私たちに、あなたがみことばで語りかけてください。今晚、レイトゥ牧師が私たちに語るものとしてあなたが与え、祝福なされた御言葉を伝えるとき、あなたがそのメッセージと共にいてください。主よ、あなたが用意されているものを聞き、受け取ることが出来ますように。もう一度、この時間に感謝します。あなたの偉大な御名によって祈ります。アーメン。アロ〜ハ！（会衆：アロ〜ハ）カルバリーチャペルカネオへによるこそ。オンラインの皆さんも歓迎します。お座りください。JD 牧師は休養中ですので、続けてお祈りください。今夜は、ヨシュア記を続けて教えます。今夜のメッセージのタイトルは、

「道を踏み外さない：恐れではなく、信仰」

今夜はヨシュア記 1 章 3 節から 9 節を取りあげます。始める前に、祈りましょう。お父さま、私たちはあなたの御前に出て祈ります。今夜この場所でああなたの御言葉、あなたの指導書、あなたのラブレターを分かち合うとき、あなたがなさろうとしていることにすべての栄光と賞賛を捧げます。私たちはあなたを愛し、あなたを称えます。主よ、今夜私たちに教えてください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

先週、私たちはヨシュア記 1 章を開きました。モーセはイスラエルの民を約束の地まで導き、亡くなってしまったので、ヨシュアは神の民を導く役割を担うことになりました。ヨシュアは、民にヨルダン川を渡らせ、約束の地へと導くこと、また、この土地は神がアブラハムに与えられたものであることも学びました。イスラエルの民は、エジプトで 400 年間、奴隷として過ごしていました。主は彼らを解放し、モーセを召され彼らを導き出させられます。40 年間荒野さまよい、そして今、約束の地に入ろうとしています。1 節と 2 節で、主はヨシュアに語られました。「モーセが亡くなった今、今度はあなたが導く番です。」主はヨシュアに、「その信仰の一步を踏み出し、前進し、わたしがイスラエルに与えた地に進みなさい」と諭しておられます。では、ヨシュア記 1 章 3 節から取り上げてみましょう。

ーヨシュア 1:3ー

わたしがモーセに約束したとおり、あなたがたが足の裏で踏む場所はことごとく、すでにあなたがたに与えている。

ーヨシュア 1:4ー

あなたがたの領土は荒野からあのレバノン、そしてあの大河ユーフラテス川まで、ヒッタイト人の全土、日の入る方の大海までとなる。

神は彼らの歴史の初期にアブラハムにこの地を与えたことを私たちは知っています。こんにち、私たちはこれらの国々を現代の名前で知っています。現代のイスラエルとその全領土、パレスチナ人が占領しているヨルダン川西岸とガザの全領土、エジプトとシリアの一部、ヨルダン国の全土が含まれています。また、イラクとサウジアラビアも含まれています。地図で見ると、真ん中の青い帯が今のイスラエルです。地図の左側には、緑色の線が広がっています。それがエジプトで、緑色はナイル川です。エジプトからこの地図の右側の茶色の部分までが、神がアブラハムと約束された地です。こんにち、イスラエルは、神が約束された地のほんの一端を占めているに過ぎません。ユダヤ人は国家として、キリストに信頼を置いていません。彼らは、イエスが待望のメシア（救い主）であることを信じていません。イエスは、彼

らが待っていた人物像に当てはまりませんでした。ユダヤ人は、イエスの時代、イスラエルに蔓延していたローマのくびきを取り除く、征服する王を待ち望んでいました。こんにち、イエスを信じるユダヤ人のことを、メシアニック・ジューと呼んでいます。私には本当に良き友人がいます。マルセロ、もし見ていたら、アロハ！ 彼はオランダにいますが、イエスを愛していて、ユダヤ人です。メシアニック・ジューは、世界に約 10 万人いると言われていて、イスラエルには 16,000 人が住んでいて、約 120 の集会があります。数は少ないですが、その影響力は非常に強いです。神の御子、キリストであるイエスを信じる神の民、神の大切な民なので強いのです。神はヨシュアに、ここが彼らの領土になると告げられます。ヨシュアはイスラエルの子たちのために、その地を支配し征服することになります。また、その地を 12 の区画に分け、各部族に 1 つずつ割り当てます。神はイスラエルに将来の計画をお持ちです。イスラエルは神のなくてはならない民だからです。ヨシュア記 1 章 5 節に進みましょう。

ーヨシュア 1:5ー

あなたの一生の間、だれ一人としてあなたの前に立ちはだかる者はいない。わたしはモーセとともにいたように、あなたとともにいる。わたしはあなたを見放さず、あなたを見捨てない。

これからの人生に、なんと素晴らしい約束でしょうか。もう誰にも苦しめられない、神はいつもあなたの味方でいてくださるということです。神はモーセやヨシュアと共におられたように、私たちと共についてくださいます。それは、クリスチャンとして問題のない人生を送るということでしょうか。神はモーセを愛していましたが、モーセにはまだ問題がありました。神はヨシュアを愛しておられましたが、彼には試練が訪れました。信者である私たちは、悩みから免れることができないことを知っています。

イエスは言われました。「この人生には、苦難があります。」

ヨハネの福音書 16 章 33 節です。イエスが語っておられます。

ーヨハネ 16:33ー

これらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を得るためです。世にあっては苦難があります。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝ちました。

ある問題は、神が私たちを成熟させるために許されたものです。神はあなたを大切に思っておられることを知り、忍耐強くなるよう祈ります。成長過程で傷つくこともあります。それによって成熟できると分かっています。ヤコブの手紙 1 章 2 節から 4 節には、こう書かれています。

ーヤコブ 1:2ー

私の兄弟たち。様々な試練にあうときはいつでも、この上もない喜びと思いなさい。

ーヤコブ 1:3ー

あなたがたが知っているとおりの、信仰が試されると忍耐が生まれます。

ーヤコブ 1:4ー

その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは何一つ欠けたところのない、成熟した、完全な者となります。

時には、私たちの罪の結果によって、問題が起こることもあります。私たちは、すべての信者が、どんなに強い人でも、罪を犯すことを知っています。主は私たちに良くしてくださっているのに、私たちはまだ罪を犯してしまいます。私たちが罪を犯すとき、神の心を傷つけるということを忘れないように祈ります。牧師として、私は罪から解放されているわけではありません。しかし、罪を犯す時、私は悲しくなります。神の心を傷つけてしまうからです。私は心から主を愛し、罪を憎んでいます。天国のこちら側で

は、誰一人として罪のない人間にはなれません。牧師として良い模範となりたいので、私が罪を犯すのを、皆さんが一度たりとも見ることがないように願っています。特にここ教会では、いつも最善の態度でいたいと思っています。しかし、これは私の思考のことなのです。私たちは皆、神の心を傷つけるようなことを考えることがあります。イエスは、誰かを憎むなら殺人を犯したことになると言われました。

(マタイ 5:22)

私たちが心に情欲を抱いて女性を見るなら、姦淫を犯したことになる。(マタイ 5:28)

ローマ人への手紙 7 章で使徒パウロは、どうしても拭いきれない罪の問題を語っています。彼の頭の中にずっと浮かんでいたものだと感じます。これは、パウロがローマ人への手紙で伝えたことです。7 章 21 節からです。神は使徒パウロを通して新約聖書の 3 分の 1 を書かれたことを心に留めておいてください。神は、私たちの罪の葛藤を理解してくださり、だからパウロに書かせられました。ローマ人への手紙 7 章 21 節。

—ローマ 7:21—

そういうわけで、善を行いたいと願っている、その私に悪が存在するという原理を、私は見出します。

—ローマ 7:22—

私は、内なる人としては、神の律法を喜んでいますが、

—ローマ 7:23—

わたしのからだには異なる律法（力）があって、それがわたしの心の律法に対して戦いを挑み、私を、からだにある罪の律法のうちにとりこにしていることが分かるのです。

—ローマ 7:24—

私は本当にみじめな人間です。だれがこの死のからだから、私を救い出してくれるのでしょうか。

—ローマ 7:25—

私たちの主イエス・キリストを通して、神に感謝します。…

(その答えは、主イエス・キリストです)

わかりますね。私は心のうちでは神の律法に従いたいのですが、私の持つ罪の性質のゆえに、肉は罪の奴隷なのです。使徒パウロには、誰もが共感できるのではないのでしょうか。告白して神に赦しを求めることができることを神に感謝します。JD 牧師は、ちょうど私たちに第 1 ヨハネの手紙 1 章 9 節でそのことを確認しました。罪が私たちのドアをロックするとき、私たちが罪から逃げ出し、私達はその罪深い思いをイエスの思いへと置き換え、清く拭い去られ、そして、すぐに主の赦しを受け、私たちが、御父への愛と、御父との歩みのなかで前進することによって、御父の心に与えた傷を回復することができることを祈ります。だからヨシュアには、この主の御言葉が本当に必要でした。神は、彼が恐れを抱いていたからこそ、その御言葉を与えられました。彼は 200 万人以上の人々を約束の地へと導くことになります。あらゆる場面で敵が現れます。彼は軍の将軍ですが、神の導きに従う必要があります。神が私たちの道を導いてくださらなければ、人生は恐れで満ちています。ヨシュアのように、私たちも人生の中で直面する多くの困難な課題を抱えています。私たちは、問題を自分だけで解決しようとする傾向があります。しかし神は、私たち神の子どもが、神のもとにやってきて、助けを求めることが大好きなのです。私たちはいつでも主のもとに行き、「主よ、助けてください」と求めることができます。詩編 121 編にこう書かれています。

—詩編 121:1—

私は山に向かって目を上げる。私の助けは、どこから来るのか。

一詩編 121:2一

私の助けは主から来る。天地を造られたお方から。

一詩編 121:3一

主はあなたの足をよろけさせずあなたを守る方は まどろむこともない。

一詩編 121:4一

見よ イスラエルを守る方はまどろむこともなく 眠ることもない。

一詩編 121:5一

主はあなたを守る方。主はあなたの右手をおおう陰。

一詩編 121:6一

昼も 日があなただを打つことはなく夜も 月があなただを打つことはない。

一詩編 121:7一

主は すべてののわざわいからあなたを守りあなたのたましいを守られる。

一詩編 121:8一

主はあなたを 行くにも帰るにも今よりとこしえまでも守られる。

イエス・キリストを信じる異邦人の私たちにも、神がイスラエルに与えられたのと同じ愛と助けが与えられています。主は私たちがいつも求め、祈っている私たちの守りの砦です。私たちのことを見守る御使いたちまで配属されています。そのことは、ヘブル人への手紙に書かれています。ヘブル人への手紙 1 章 13 節から 14 節に、こう書かれています。

一ヘブル 1:13一

いったいどの御使いに向かって、神はこう言われたのでしょうか。「あなたは、わたしの右の座に着いていなさい。わたしがあなたの敵をあなたの足台とするまで。」

一ヘブル 1:14一

御使いはみな、奉仕する霊であって、救いを受け継ぐことになる人々に仕えるために遣わされているのではありませんか。

イエス・キリストに信仰を置く者はみな、天国を受け継ぎます。それまでは、私たち一人ひとりに御使いが割り当てられ、私たちを見守ってくれています。私は人生において、悲劇になりかねないような危機的状況を何度も経験したことがあります。神は御使いたちに私を守らせていたのです。詩篇 34 篇で、ダビデ王は祈り、主に感謝します。敵の都にいた彼は、助けを求めて祈りました。ダビデは敵の前では狂ったようなふりをしました。それは上手くいき、敵はダビデを行かせます。詩篇 34 篇 4 節から、そのことがわかります。

一詩編 34:4一

私が主を求めると 主は答えすべての恐怖から私を救い出してくださった。

一詩編 34:5一

主を仰ぎ見ると 彼らは輝いた。彼らの顔は辱められることがない。

一詩編 34:6一

この苦しむ者が呼ぶと、主は聞かれすべての苦難から救ってくださった。

一詩編 34:7一

主の使いは 主を恐れる者の周りに陣を張り彼らを助け出される。

一詩編 34:8一

味わい 見つめよ。主がいつくしみ深い方であることを。幸いなことよ 主に身を避ける人は。

一詩編 34:9一

主を恐れよ。主の聖徒たちよ。主を恐れる者には乏しいことがないからだ。

一詩編 34:10一

若い獅子も乏しくなり 飢える。しかし 主を求める者は良いものに何一つ欠けることがない。

ヨシュアは、神がいかに良いお方であったか、神がモーセに対して常に良いお方であり、荒野の中で 200 万人以上の人々が何一つ欠けていないことを見ました。神は彼らに水とマナを与えられ、病に倒れるまでウズラを与えられました。今、ヨシュアは主から確証を得ます。神は彼を裏切られず、見捨てられません。神はエレミヤに語りかけ、恐れるなど励まされました。ヨシュアのように、エレミヤも恐れていました。エレミヤ書 1 章 7 節から 9 節です。

一エレミヤ 1:7一

主は私に言われた。「まだ若い、と言うな。わたしがあなたを遣わすすべてのところへ行き、わたしがあなたに命じるすべてのことを語れ。

一エレミヤ 1:8一

彼らの顔を恐れるな。わたしがあなたとともにいて、あなたを救い出すからだ。一主のことば。」

一エレミヤ 1:9一

そのとき主は御手を伸ばし、私の口に触れられた。主は私に言われた。「見よ、わたしは、わたしのことばをあなたの口に与えた。

私は 32 年間、港湾労働者として働きましたが、職場は大変でした。2000 年に、私は自分の人生を主に捧げました。以前、アルコール依存症から解放されたことをお話ししました。私は今、23 年間アルコールを飲んでいませんし、あそこにいる妻のジーニーも、とても喜んでいます。それ以来、ずっと祝福されています。しかし、私にも試練や問題がありました。仕事では、いつも無口で、自分の仕事をこなすだけでした。私は、不公平で不当な問題があることを、常に目の当たりにしていました。私はもうクリスチャンでしたから、主がそれを解決するために私の心に置かれたのです。詳細は省きますが、主が私を導かれていることはわかりました。正直、恐れていました。人々が怒るだろうからです。言いたいことを書いて、職場の組合会議で読みました。その後、熱い議論が交わされました。そうして何週間かが過ぎ、1 ヶ月が過ぎました。それからかなり時間が経ちましたが、私の提案は通りました。私は諦めていましたが、しかし、神はそうではありませんでした。すぐに、私は主を賛美し、主がしてくださったことを感謝しました。箴言 29 章 25 節から 27 節に、こう書かれています。

一箴言 29:25一

人を恐れると罾にかかる。しかし、主に信頼する者は高いところにかくまわれる。

一箴言 29:26一

支配者の顔色をうかがう者は多い。しかし、人を裁くのは主である。

一箴言 29:27一

不正を行う門は正しい人に忌み嫌われ、行いの真っ直ぐ人は悪しきものに忌み嫌われる。

友人を失うこともありましたが、クリスチャンになったときにすでに友人を失っていました。家族でさえも、私の新しい信仰にあまり関心がありませんでした。私は酒と遊びの仲間を失い、彼らは怒っていま

した。その後、私の友人や家族の何人かが私のところに来て、イエスのことを聞いてきました。その中には、今、救われて、主とともに歩んでいる人もいます。神は、私たちが恐れることを望んでおられません。主はご自分に信頼することを望んでおられます。恐怖や心配が私たちの人生を支配することを望んでおられません。神を愛し、神の目的に従って召された人々には、すべてのことが共に働いて益となることを忘れないでほしいと思っておられます。(ローマ 8:28)

だから、家族や友人を失いますが、私たちは新しい仲間を作り、共に交わり、奉仕し、永遠に共に過ごすことができる新しい仲間を作ります。ヨハネの福音書 15 章 18 節から 19 節で、イエスはこう語っておられます。

—ヨハネ 15:18—

世があなたがたを憎むなら、あなたがたよりも先にわたしを憎んだことを知っておきなさい。

—ヨハネ 15:19—

もしあなたがたがこの世のものであったら、世は自分のものを愛したでしょう。しかし、あなたがたは世のものではありません。わたしが世からあなたがたを選び出したのです。そのため、世はあなたがたを憎むのです。

ヨシュアは、多くの恐怖と困難に直面することになります。また、彼には多くの敵が迫ってきます。しかし、神は彼の味方であり、決して彼を見捨てられません。神はヨシュアに恐れることなく、信仰を持つことを望まれました。ヨシュア記 1 章 6 節に進みましょう。

—ヨシュア 1:6—

強くあれ、雄々しくあれ。あなたはわたしが父祖たちに与えると誓った地を、この民に受け継がせなければならぬからだ。

強さと勇気。それは強力な組み合わせです。ヨシュアにはその両方が必要です。彼の前に立ちただかる課題は、非常に大きなものです。彼は、悪や邪悪な影響を取り除くことだけを任されたわけではありません。神は、彼が神の民の間で土地を分割するように召されました。勇気とは、自分が怖いと思うことを実行する能力のことです。これからの戦いは、不安や恐怖を感じることもあるでしょう。また、これらの課題を達成するためには、体力も必要です。神はヨシュアに何が必要かを知っておられます。ヨシュアが恐れていることを神は知っておられます。そう、ヨシュアは以前にも戦いに挑み、神は彼に勝利を与えてくださいました。しかし、この先の課題は、今までのものとは違います。私たちにも、人生の課題や試練の中で、落胆することがあります。それは、力を奪ってしまうほど深刻な場合もあります。「discourage/落胆」とは、「自信や熱意を失う」という意味です。自分に頼っていると、勇気や力を失ってしまうことがあります。「全能」という言葉は、神はすべての力を持つという意味です。神の全能を理解するとき、恐怖は消えていきます。神は私たちが呼び求めるのを待ち、待機しておられるからです。イエスは私たちに、「わたしに留まりなさい」と言われました。主とつながっていれば、私たちは強くなることができます。私たちが主とつながっていれば、勇気を受け取ることができます。ヨハネの福音書 15 章 4 節から 5 節です。日曜学校で教えていた時に初めてこれを教えました。

—ヨハネ 15:4—

わたしにとどまりなさい。わたしもあなたがたの中にとどまります。枝がぶどうの木にとどまっていなければ、自分では実を結ぶことができないのと同じように、あなたがたもわたしにとどまっていなければ、実を結ぶことはできません。

—ヨハネ 15:5—

わたしはぶどうの木、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人にとどまっているなら、その人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないのです。

ヨシュアがモーセから学んだのは、神とのつながりを保つことでした。軍事戦略家であるヨシュアは、自分の才能がどこから来るのか知っていました。神がいなければ、自分は何もできないのだと知っています。ヨシュアは神によって、素晴らしく、恐ろしいほど美しく造られました。彼はただ、この先の任務を神に信頼しなくてはなりません。箴言 3 章 5 節から 6 節に書かれています。

—箴言 3:5—

心を尽くして主に抛り頼め。自分の悟りに頼るな。

—箴言 3:6—

あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。主があなたの進む道をまっすぐにされる。

詩編 56 編 11 節にはこう書かれています。

—詩編 56:11—

神に信頼し 私は何も恐れませんが、人が私に何をなし得るでしょう。

神は、私たちが完全に神に信頼することを望んでおられます。どんなことがあっても、主に信仰と信頼を置くことです。主は決して私たちに失望させることはありません。私たちの問題の多くは、人との関係からくるものです。人との問題を癒すために、神に目を向けましょう。私たちはイエスから、敵のために祈るように戒められています。主が共にいてくださると信頼してください。だから、恐れる必要はありません。クリスチャンとしての私の人生の中で、恐れを抱いたことは何度もありました。

「どうすればこの問題から解放されるのだろうか？」「どうすればこの状況から抜け出せるのか？」

不可能に見えますが、神はいつも私を救い出してくださいました。また別の試練がやってきます。またもや、私は恐れます。しかし、時が経ち、さまざまな試練を乗り越えてきたことで、問題が起きても以前のようにパニックになることはなくなりました。主が、過去にどのように私を救い出してくださいましたかを覚えているからです。私は主の御言葉を思い出し、主は、恐れてはならないと語ってくださいます。イザヤ書 41 章 10 節にこう書かれています。

—イザヤ 41:10—

恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。わたしはあなたを強くし、あなたを助け、わたしの義の右の手で、あなたを守る。

イザヤ書 35 章 3 節から 4 節にはこう書かれています。

—イザヤ 35:3—

弱った手を強め、よろめく膝をしっかりさせよ。

—イザヤ 35:4—

心騒ぐ者たちに言え。「強くあれ。恐れるな。見よ。あなたがたの神が、復讐が、神の報いがやって来る。神は来て、あなたがたを救われる。」

イザヤ書 26 章 3 節から 4 節。

—イザヤ 26:3—

志の堅固な者を、あなたは全き平安のうちに守られます。その人があなたに信頼しているからです。

—イザヤ 26:4—

いつまでも主に信頼せよ。ヤハ、主は、とこしえの岩だから。

神は私にたくさんの約束をしてくださったことを思い出します。神は決して、子ども達との約束を破られません。ダビデ王は、詩篇の中で、神への感動を語っています。ダビデは神を親密に知っており、神は常に自分のそばに居ることを理解していました。詩篇 27 章 1 節から 5 節にこう書かれています。

一詩編 27:1-

主は私の光、私の救い。だれを私は恐れよう。主はわたしのいのちの砦（力）。だれを私は怖がろう。

一詩編 27:2-

私の肉を食らおうと、悪を行う者が私に襲いかかったとき崩れ落ちたのは 私に逆らう者 私の敵であった。

一詩編 27:3-

たとえ 私に対して陣営が張られても私の心は恐れない。たとえ 私に対して戦いが起こってもそれにも私は動じない。

一詩編 27:4-

一つのことを私は主に願った。それを私は求めている。私のいのちの日の限り、主の家に住むことを。主の麗しさに目を注ぎその宮で思いを巡らすために。

一詩編 27:5-

それは 主が 苦しみの日に私を隠れ場に隠しその幕屋のひそかなところに私をかくまい岩の上に私を上げてくださるからだ。

13 節と 14 節に飛びます。

一詩編 27:13-

もしも 私が 生ける者の地で主のいつくしみを見ると信じていなかったならー。

一詩編 27:14-

待ち望め 主を。雄々しくあれ。心を強くせよ。待ち望め 主を。

ダビデにとって良い言葉です。私たちは時に心を失ってしまうからです。神は私たちの味方であり、私たちを愛してくださっているということ、よく覚えておく必要があります。13 節は、JD 牧師が好きな箇所です。もう一度 13 節を読んでみましょう。

一詩編 27:13-

もしも 私が 生ける者の地で主のいつくしみを見ると信じていなかったならー。

JD 牧師が経験された数々の試練を私は見てきました。もう 20 年くらいの付き合いになると思います。彼の娘であるノエルが生まれたとき、その命は長くはありませんでした。彼女はエドワーズ症候群と呼ばれる 18 トリソミーでした。ノエルは常に介護が必要なため、妻のケリーと交代で寝泊まりしていました。それでも日曜日と木曜日の夜には、JD 牧師はメッセージを伝えていました。疲れ切っているのが伝わってきました。それでも彼は自分の使命を全うしました。本土から来た多くの牧師がそうであるように、諦めて本土に帰ることもできたはずですが。彼らはここハワイに 2、3 年来て、また戻っていきます。教会は小さく、彼はテント作りの仕事に従事していました。その時、彼が給料をもらっていたかどうかは覚えていません。彼は、ガレージで車を売って生活していました。彼は神が自分に与えられた召しに忠実であり続けました。この節は、そのような試練の時に彼を支えました。ノエルは 5 ヶ月間家族と過ごし、天国に旅立ちました。ほどなくして、娘のサビアが誕生しました。主がこの主の教会を整えてくださった

ことを感謝します。この偉大な働きをするために、信頼できる人物が必要だったのです。ですから、もう一度、J.D.牧師のためにお祈りください。エレミヤ 29 章 11 節にはこう書かれています。

—エレミヤ 29:11—

わたし自身、あなたがたのために立てている計画をよく知っている。それはわざわざではなく平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。

神は、JD 牧師の将来の希望のために計画があらわれました。彼は多くの試練を経験しましたが、神が彼を導いておられました。ヨシュアには、指導し、世話をしなければならぬ国家があり、1 千万人以上の人々に仕える必要があります。彼は常に戦い続けることとなります。ヨシュア記 1 章 7 節に進みましょう。

—ヨシュア 1:7—

ただ強くあれ。雄々しくあれ。わたしのしもべモーセがあなたに命じた律法のすべてを守り行うためである。これを離れて、右にも左にもそれではならない。あなたが行くところどこでも、あなたが栄えるためである。

再び、神は 6 節で言われたことを繰り返しておられます。今度はこう言われます。「非常に勇気を出しなさい（雄々しくあれ）」「非常に」という言葉は、ヘブライ語の辞書においては vehement、「激しい」という意味です。Vehement とは、力強く、情熱的で、強烈な強さを持つという意味です。神はヨシュアにこう言われます。「モーセがあなたに言ったことをすべて実行に移しなさい。仕事に取り掛かり、全速力で進みなさい。脇道にそれたり、気を抜いてはいけません。焦点を定めていれば、どこに行っても祝福されます。」

クリスチャンとして、私たちは召しの中で時々焦点を見失うことがあります。神が私たちを召されたことで、私たちは力強く歩み出します。そして、私たちは脇道にそれてしまったり、世の中の何かに気を取られてしまうかもしれません。職場でも、家庭でも、教会でも、自分の使命に従うことができるように祈ります。私たちは、人のことを考え、思いやり、心をこめて奉仕し、神が「完了」と言われるまで最善を尽くすことです。コロサイ人への手紙 3 章 23 節から 24 節には、こう書かれています。

—コロサイ 3:23—

何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心から行いなさい。

—コロサイ 3:24—

あなたがたは、主から報いとして御国を受け継ぐことを知っています。あなたがたは主キリストに仕えているのです。

箴言 16 章 3 節にはこう書かれています。

—箴言 16:3—

あなたのわざを主にゆだねよ。そうすれば、あなたの計画は堅く立つ。

箴言 10 章 4 節にはこうあります。

—箴言 10:4—

無精者の手は人を貧乏にし、勤勉な者の手は人を富ませる。

8 節に進みます。

—ヨシュア 1:8—

このみおしえの書をあなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさめ。そのうちに記されていることすべてを守り行うためである。そのとき、あなたは自分がすることで繁栄し、そのとき、あなたは栄えるか

らである。

モーセは死ぬ前に、神が語られたことをすべて記録しています。モーセが書いた「申命記」にもそのことが書かれています。申命記 31 章 9 節にこうあります。

—申命記 31:9—

モーセはこのみおしえを書き記し、主の契約の箱を運ぶレビ族の祭司たちと、イスラエルのすべての長老たちにこれを与えた。

—申命記 31:10—

モーセは彼らに命じた。「七年の終わりごとに、すなわち免除の年の定めの時、仮庵の祭りに、

—申命記 31:11—

イスラエル全体が、主が選ばれる場所に、あなたの神、主の前に出るためにやって来たとき、あなたはイスラエル全体の前で、彼らの耳にこのみおしえを読んで聞かせなければならない。

モーセは、神の御言葉の著者を直接知っていました。まず、主が語るのを聞いたのは、燃える柴でした。

(出エジプト 3)

そして、ヨシュアと共にシナイ山で、石に書かれた神の御言葉である律法が与えられました。ヨシュアは、神の威厳と力を目撃しました。モーセの顔が非常に輝いているのを見て、彼は畏れを感じました。それは、モーセが神とともにいたことの証でした。だからヨシュアは、神の御言葉に従うことの大切さを理解しています。彼はモーセから、主とともに過ごす時間がいかに重要かを学びました。モーセは聖書の最初の 5 冊を書き、ヨシュアには主からの数々の指示がありました。昼でも夜でも、すべての行動において、神の御言葉に照らして判断すること、そうすればその道は栄えるということです。聖書は神が書かれた人生の指導書ですね？「Bible/聖書」という言葉の頭文字をとって、Basic Instructions Before Leaving Earth.地球を離れる前の基本的な指示 B-I-B-L-E: Basic Instructions Before Leaving Earth.地球を離れる前の基本的な指示 本当に、私たちの益と祝福のための神のラブライターです。第二テモテへの手紙 3 章 16 節にこう書かれています。

—II テモテ 3:16—

聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。

—II テモテ 3:17—

神の人がすべての良い働きにふさわしく、十分に整えられた者となるためです。

神の御言葉を知れば知るほど、私たちはより良い備えをすることができます。クリスチャンの間では、偽りの教えがたくさん出回っています。神の御言葉を理解すると、欺瞞に満ちた教えを見分けることができます。JD 牧師は、長年にわたり牧師をされています。彼は教会で偽りの教えに関する多くの問題を見てきました。カルバリーチャペル カネオへでは、神の御言葉を知らない人たちや、聖書の解釈を間違えている人たちに対処しなければなりません。偽りの教えは、神の真理から人を迷わせるので問題なのです。このような問題から私たちの仲間を守っておられる神に感謝します。ヨシュアにとって、偶像礼拝は彼と彼の民の周りを取り囲んでいます。偽教師が溢れ、乗っ取ろうとします。彼は神の御言葉に集中し、知る必要があります。繰り返しますが、200 万人以上の人々を導かなければなりません。ヨシュアは各部族のリーダーに責任を持たせていましたが、リーダーである彼が神の御言葉を知り、理解することが重要でした。ヨシュアは、詩篇 119 篇の著者と同じように、神を愛していました。

—詩編 119:97—

どれほど私は あなたのみおしえを愛していることでしょうか。それがいつも 私の思いとなっています。

—詩編 119:98—

あなたの仰せは 私を敵よりも賢くします。それがとこしえに私のものだからです。

105 節まで飛びます。

—詩編 119:105—

あなたのみことばは 私の足のともしび私の道の光です。

—詩編 119:106—

私は誓い また それを果たします。あなたの義の定めを守ることを。

戦いは激しさを増し、彼らは神の導きを必要としていました。神の御言葉に従うことで、彼らは成功に恵まれることとなります。神は彼らの味方であられ、彼らは勝利と繁栄を手に入れるでしょう。ヨシュア記 1 章 9 節です。

—ヨシュア 1:9—

わたしはあなたに命じたのではないか。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたが行くところどこでも、あなたの神、主があなたとともにおられるのだから。」

もう一度、神はヨシュアに、「強くあれ」と指導されます。悪の国を清めるのは、負荷がかかるでしょう。多くのイスラエル人の家族が、父親を、愛する人を失うこととなります。戦いに次ぐ戦いで、多くの血が流されることとなります。カナン人は邪悪で、非常に悪い人々でした。洪水と同じように、神は当時の悪しき影響を根絶やしにされました。カナン人はどれほど邪悪だったのでしょうか？ レビ記 20 章には、彼らの邪悪な習慣のリストが記されています。神はモーセに、民に警告を与えるよう告げられます。

「カナン人の罪の慣習に従ってはならない。」彼らは偶像崇拝者であり、偽りの神々に従っていました。カナン人は子どもたちをモレクへの生け贄として捧げました。神ではない偽の神々から、家族の利益がもたらされることを期待して、子どもたちは犠牲になりました。占星術師や霊媒師もいました。ソドムとゴモラのように性的な罪が蔓延していました。先週はハムとその悪行についてお話ししました。彼の後の世代は、さらにどんどん邪悪になっていきました。私たちは、カナン人のようなライフスタイルに満ちた世界を生きています。ついにヨシュアと同じように、私たちも戦いの中にいます。私たちは敵地の中にいます。これから、強く、勇気をもって進んでいかなければなりません。どんな勝利にも導かれるように、信仰によって神に目を向けましょう。ヨシュアは恐れることもあります、必ず自分の知っていることに立ち返ります。彼は、自分が仕える神は真実で生きておられる神であり、善であり、親切であることを知っていました。過去に神の働きを見てきました。これからもっと多くの奇跡を経験することとなります。だから、イエス・キリストに従う私たちも、恐れるときには、過去にイエスが私たちのためにしてくださったことを思い出しましょう。主に信頼し、自分の理解に頼らないことです。あなたの道のすべてにおいて主を認め、私たちの人生における主の威厳と善意を認めてください。主があなたを救い出してくださったことを思い出してください。あなたが「はい」と答えて救われた日、一瞬にしてすべてが変わったことを思い出してください。もう同じ人間ではないと、違和感を覚えたのではないのでしょうか。空はもっと青く、木々はもっと緑に満ちていました。それが私に起きたことです。別世界にいるような感覚になりました。あなたは分かっていませんでしたが、聖霊があなたの命に入ったのです。あなたはキリストの中において、新しく創造されたのです。

「古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」(Ⅱコリント 5:17)

もう二度と、死んだばかりの古い自分にならないように。早くみんなに、イエスのことを伝えたいはずで
す。神はあなたの人生に使命を持っておられます。ヨシュアのように、あなたにも神から与えられた任務
があります。多くの戦いがやってきますが、主が共にいてくださることを感謝します。ヨシュアのよう
に、前に進み、神に目を向け、信頼することです。恐れではなく、信仰によって前進するよう、イエスに
助けていただきましょう。ヨシュアは、この地の悪と悪事を排除することが任務です。これは、主がご自
分の民のために用意しておられる地です。将来、イエスが誕生される地です。イエスが十字架で命を捧げ
られた地です。この地は、主が戻られるときに来られる地です。マラナタ、主イエスよ、早く戻って来て
下さい。お立ちください。祈りましょう。天の父よ、私はただあなたの御座の前に出て感謝します。父よ、
私たちは十字架を決して忘れません。乳と蜜の流れるこの地、ヨシュアがあなたの民のために取り戻す
ために戦うこの地に目を向け、主よ、あなたに感謝します。私たちは、あなたの御子イエスを感謝します。
あなたが私たちのためにしてくださったことを決して忘れません。主よ、あなたが十字架にかからなけ
ればならなかった私たちの罪をお赦してください。父よ、私たちをお赦してください、イエス様、私たちの罪
のために、あなたが多くの痛みと恥辱に耐えなければならなかったことをお赦してください。聖霊様、私た
ちの人生をずっと力づけ、私たちの中に入るのを待っていて下さったことに感謝します。あなたは決し
て強いことはなさいませんでした。しかし、あなたが入って来られたとき、あなたは私たちを封印して
くださいました。私たちは永遠にあなたのものであります。あなたは私たちを栄光から栄光へと変えてくださ
います。主よ、私たちの人生にあなたがしてくださっているすべてのことに、すべての賞賛とすべての栄
光を捧げます。主よ、私たちがイエス・キリストに従う者、あなたに従う者となり、信仰を持ち、恐れな
い者となるようにさせてください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオへ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7